

2017 年度 国分寺市予算学習会

日本共産党・国分寺市議会議員
幸野おさむ



配布資料

本レジメ

資料 1・・・●2016 年度（平成 28 年度）国分寺市予算の主な事業の現状

参考資料・・・●平成 29 年度（2017 年度）当初予算案について

資料 2・・・●2017 年度予算学習会・資料集

はじめに・・・2016 年度予算のおさらい・・・**資料 1**

（1）2017 年度予算案の概要

参考資料 予算規模は一般会計で 495.9 億円（16 年度 408.6 億円）

P1,2 全会計で 980 億円（16 年度 708.1 億円）

特徴：当初予算案としては、16 年度を超えて、過去最大

レジメの数字の見方

金額は小数点第 1 位で、四捨五入しています

単位は（億円）

年度についてはすべて西暦です

2017 年度の下 2 桁で示しています

P2 全会計における特徴・・・**資料 2** P1 グラフ

- ・国分寺駅北口再開発特別会計 186.6 億増（17 年度中、再開発ビル完成）
 - ・地域バス（ぶんバス）運行特別会計 0.4 億増（万葉・けやきルート運行開始）
 - ・国民健康保険特別会計 2.4 億減（国保加入者の減）
 - ・介護保険特別会計 0.6 億増（積立金の額が増）
 - ・一般会計 87.3 億増
- （国分寺駅北口再開発特別会計からビル建設敷地売却益 150 億収入で 75.8 億戻入、その他は後で）

②一般会計の歳入における特徴・・・P1 グラフ、P2 グラフ

P3,7 ・市税 5.3 億増（現年分：個人市民税 3.5 億、法人市民税 0.4 億、固定資産税 1.4 億増など）

P3 ・各種交付金 4.1 億減（配当割交付金 1.9 億、株式等譲渡所得割交付金 1 億減等）

・地方消費税交付金 1 億減（2014 年度から、5% 8%で、平均的には 12 億増）

・国庫支出金、都支出金 5.5 億増（保育園の整備費、運営費の増など）

・繰入金 74.8 億増（国分寺駅北口再開発特別会計から 75.8 億戻入）

基金残高・・・P2 グラフ

P5 ・一般会計の基金合計は 73.9 億増で 119.3 億円

P6 ・国分寺駅北口再開発特別会計基金は全額取り崩しで、現在高 0 円

・介護保険の準備基金は 0.9 億増で 4.5 億円（16 年度 3 月補正で更に 0.8 億増）



(2) 2017 年度予算案の政策的特徴・・・資料 2

一般会計の歳出における特徴

前進面・・・消費税 8%の財源等を元に、一定の市民要求の前進



認可保育園は 17 年度中に 3 園開園、18 年度 2 園準備、全て民設民営

(ただし、認可保育園の待機児は 10 月 1 日時点で 304 名)

学童保育は 17 年度に民設民営学童 2 カ所開所、18 年度 2 カ所準備、公立は 7 小敷地内 1 カ所準備

(ただし、17 学童保育所のうち 13 施設で定員超過、ほんだ学童の建て替えも棚上げ)・・・P3 資料

民間保育園の保育士確保策として、宿舍借り上げ支援事業を実施・・・P4 資料

(対応遅れの影響が懸念材料だが、月額 82000 円の補助は大きい、小池都政が対象を拡大)

子どもの医療費助成制度拡大、小学校 3 年生まで所得制限の撤廃

(一歩前進だが、中学校 3 年生まで拡大すればいいのに、小出しにする意味不明)

小学校のトイレ改修は残り 3 校分計上 (3・8・9 小)

(15 年度、16 年度にも実施したが、国の補助金削除で市の単独負担に)

小学校の特別教室にエアコン設置は 4 校分を計上 (1・5・6・7 小、2・10 小は 18 年度)

(16 年度にも実施したが、国の補助金削除で都の補助のみに)

第 9 小学校と、第 10 小学校の校舎増築・・・P5 資料

(16 年 12 月に急ぎょ決定したため、国及び都の補助は受けられず、2・4 小も不足している)

認知症対策、高齢者見守り相談窓口、在宅医療と介護連携相談
窓口、高齢者運転免許自主返納支援

(対処療法中心で、生きがい事業の充実や入浴施設の活用など、
介護予防の視点なし)

予防接種モバイルサービス、子宮がん・乳がん個別勧奨

地場野菜を活用した観光・地域振興事業 (コクベジ)

国分寺駅北口地下自転車駐車場整備・・・P6 資料

(35 億円の機械式 20 億円のラック式に切り替えさせる、ただし駐輪場は依然不足している)

防災まちづくり推進地区への支援事業

(西恋ヶ窪 1 丁目防災会、内藤・日吉防災会、西町友和会への支援)

街灯・照明灯の LED 化促進

国民健康保険特別会計に対する一般会計からの繰り出し金増・・・P7 資料

(違法な会計操作を行ってきた結果、特別会計は赤字だが、18 年度までに繰り出し金で解消する約束)



後退面 ・ ・ 行政改革の名のもとに進められる住民サービスの後退が懸念される事業

待機児童の解消に逆行する市立ほんだ保育園の民営化事業 ・ ・ P8 資料

(3 園の民営化で 51 名の保育士を手放す コストは 3.3 億削減のはずが 0.2 億増に その他)

市立もとまち保育園は 19 年度 ~、市立しんまち保育園は 20 年度 ~ 民営化予定 ・ ・ P8 資料

(本気で待機児童を解消するために、民営化は中止して、民営化分の増設を)

保育料の値上げは、一旦ストップさせる

(利用料等検討委員会に正確な資料を提示せず、3 月に再答申が出る予定)

特別支援学級・通級が、巡回型の特別支援教室に移行する問題 ・ ・ P9 資料

(普通教室が不足する中、教室が確保できない、一人ひとりの授業時間が減る危険)

公共施設総合管理計画に基づく「適正再配置計画」「個別施設計画」の策定 ・ P10 ~ 資料

(必要な公共施設の増設がこの計画によって縛りに！市民プールの統廃合は一旦ストップさせる)

介護保険における「総合事業」の導入 ・ ・ P13 資料

(要支援 1・2 のサービスを専門職でなく NPO やボランティア等で対応)

更なるマイナンバー制度の拡大については、不明 ・ ・ P14 資料

(マイナンバーを扱う地方公共団体情報システム機構 (J - LIS) 問題)



注意面 ・ ・ 今後懸念される大型開発事業等

国分寺駅北口再開発事業は 2 棟のビル完成、公益フロアの整備費は増加など ・ ・ P15 資料

(総事業費 900 億円、市民の負担 470 億円、住友不動産への売却収入 150 億円が一部一般会計に戻る)

西国分寺駅北口地区周辺まちづくり推進事業は、国分寺駅北口再開発の教訓を

(権利者の中で「再開発」の手法を中心に検討中、推進地区まちづくり協議会立ち上げ)

都市計画マスタープランに掲げる土地利用計画見直し推進事業

(西国分寺駅周辺や、恋ヶ窪駅周辺、幹線道路沿道などの用途地域変更が目的か)

国 3・4・12 号線整備事業

(都市づくり公社に対して、用地交渉の業務委託費だけで、1.7 億円を計上)

新庁舎建設について、市長が「2017 年度中に建設場所を決めたい」意向を示す ・ P15 資料

(しかし、基礎調査報告書しか策定しておらず、市民的な議論が全くない)

不足面 ・ ・ 本来であればもっと予算を充実しなければならない事業

高齢者福祉分野 (介護予防や入浴施設の活用なし、老人保健施設の整備も先送り)

障がい者福祉分野 (窓口での筆談サポートぐらいで、その他拡充されたもの確認できず)

低所得者対策 (確認できず)

バリアフリーのまちづくり (バリアフリー基本構想の具体化なし、西国分寺駅東口開設は総合ビジョン・実行計画案から外す、恋ヶ窪駅東口関連の予算なし、国分寺駅の駐輪場不足対策も予算なし)

冒険遊び場・プレイステーションや公園の拡充 (利用が制限されつつある)

人権・民主主義・市民自治・・・日本国憲法違反、自治基本条例違反が横行

国分寺まつりにおける 9 条の会や脱原発団体の排除問題・・・P16 資料

（東京弁護士会から「表現の自由の侵害」と指摘されるが無視、11 名の超党派市議で「すみやかに回答するよう」要望書を提出）

国分寺市ビジョンから日本国憲法の理念を削除・・・P16 資料

（「平和」「人権」「男女平等」「健康で文化的」といった憲法の文言を削除）

総合ビジョンの策定から市民を排除・・・P17 資料

（無作為抽出・抽選のワークショップで回数も制限、実行計画は説明会・パブコメなし）



新庁舎建設の建設場所も、市民の声聞く気なし

（独断で泉町に決定したい思惑）

市民プールの統廃合計画は、市民の反発で延期

（市民の声を聞かないが故に矛盾が噴出）

「環境部」を廃止、「建設環境部」と「まちづくり部」に再編・・・P17 資料

（国は 01 年「環境庁」→「環境省」へ、狛江市は 14 年度に「建設環境部」→「環境部」に独立）

まちづくりセンターの協働運営を廃止し、市直営のまちづくりセンターに

（10 年間積み上げた市民的まちづくりの後退、トップダウンのまちづくりに）

市議会で気に入らない議員や会派には答弁しない

（議会制民主主義も二元代表制も無理解、担当の部長も困惑、）

「再配置計画」の団体ヒアリングに参加した市民の顔を記憶して登録団体を記録、市議会に資料提出

（市民を威嚇、意見を封じる策動）・・・**注意**

17 年度中に検討される市の方針や計画

- ・高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（18 年度～3 カ年）
- ・障害者計画実施計画・障害福祉計画（18 年度～3 カ年）
- ・一般廃棄物処理基本計画改定 17・18 年度で検討（19 年度～）

終わりに

- ・6 月 25 日告示、7 月 2 日投開票の国分寺市長選挙
- ・厳しい財政状況は脱し、くらしの予算に回す財源は十分
- ・人口増加に対応した公共施設の整備
- ・環境とバリアフリーを重視したまちづくり
- ・日本国憲法と、自治基本条例が活きる市政
- ・「ポスト真実」の井澤・自民党市政を転換しよう！
- ・そのために「真実の情報」を拡げよう！

